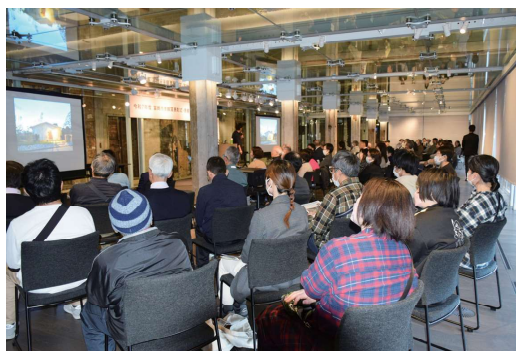


富岡市景観まちづくり講演会

～とみおかが好きになる街あかりー性能照明設計にあかりの事例ー～

富岡市 建設水道部 都市計画課

富岡市では、景観形成の推進と市民の景観意識の向上を目的として、「富岡市景観まちづくり講演会」を開催しています。令和8年2月28日(土)に富岡製糸場 国宝「西置繭所」にて開催し、一般の方から行政関係者まで、約80名の皆様にご参加いただきました。今回は、「まちの魅力を引き出す景観まちづくり」をテーマに、地域資源を活かした取組事例に焦点を当てました。



講演会の様子

■ 講演内容

本講演会では、「とみおかが好きになる街あかりー性能照明設計にあかりの事例ー」をテーマに、ぼんぼり光環境計画株式会社の角館政英氏を講師に迎えました。

角館氏は、照明デザイン分野の第一線でご活躍されており、富岡市においても、上州富岡駅及び駅前周辺の改修整備、さらに富岡商工会議所建設等の際に照明計画を担当されました。また、東日本大震災で甚大な津波被害を受けた気仙沼市では、照明を用いた高台避難誘導や防潮堤整備を推進し、土木学会土木デザイン優秀賞やグッドデザイン賞などを受賞されています。

講演では、照明は防犯性の向上だけでなく、地域の特徴を活かした景観づくりや、記憶に残る空間演出に重要な役割を果たすことが紹介されました。

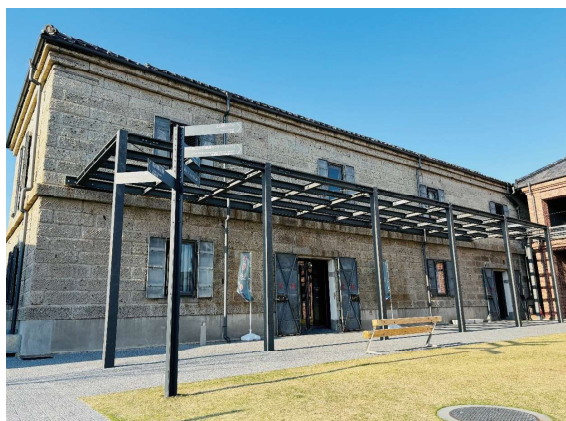
実例を交えた内容は分かりやすく、参加者の関心を集めました。



角館政英さん

■ 景観賞表彰

講演会と併せて、富岡市景観賞表彰式を実施し、「パーソルダイバース株式会社とみおか繭工房妙義・とみおか繭工房富岡倉庫」が表彰されました。本団体は、富岡市を拠点とする特例子会社で、養蚕や桑園の管理、景観重要建造物を活用した飲食店の運営など、地域資源を活かした事業を展開しています。これらの活動は、富岡市景観づくり会議の審議においても、高く評価されました。



とみおか繭工房富岡倉庫



受賞団体の活動の様子

■ 景観行政としての思い

富岡市では、世界遺産「富岡製糸場」を有する一方で、観光客数の減少が課題となっています。今回の講演を通じ、地域資源の活用や「あかり」による魅力づくりの重要性について理解を深めることができました。

今後も景観まちづくり講演会等を通して、景観意識の向上を図り、魅力あるまちづくりを推進していきます。

